



崇高な進歩へ — 自分を律し、他者への共感を育む
より良い選択 & より良さを追究

第2学年主任

こころ 夢を語り 合いながら M I G A K I

— 当たり前の徹底(凡事徹底) — 有り難さの追求 —

< 東大崎地区公民館学習の掲載記事紹介 >

2022年(令和4年)5月14日(土曜日)

大崎タイムズ

目閉じ心静かに精神統一

古川西中2年生が座禅体験

大崎市古川西中の2年生39人が11日、地元にある高泉寺を訪れ、花山真龍住職の説法を受けたり、座禅を体験したりした。

この校外学習は、同寺の互助会役員を務める市古川東大崎地区公民館の手代耕司館長が、花山住職に協力を

依頼して実現。より充実した学習にしてみらおると、市内外の寺院から5人の僧侶も協力に駆け付けた。

生徒たちは曹洞宗や同寺の成り立ちなどを聞いた後、20分間の座禅に挑戦。始まりを知らせる鐘が鳴ると、目を閉じて心静かに精神

静かに目を閉じて座禅を組む生徒たち

統一。警策と呼ばれる木の棒で右肩を打たれる経験もし、背筋を伸ばしていた。

「20分とは思えないほど長く感じた」「鳥の声や風の音がはつきりと聞こえた」など、

生徒の反応はさまざま。氏家愛さん(13)は「普段はできない体験で、座禅の最中はいろんなことが頭に浮かんだ」と感想。大柳悠音さん(13)は「静かに自分と向き合う時間は良いと思った。家でもやってみよう」と話していた。






進行役



開会のあいさつ：

館長 手代 耕司 様



講師：高泉寺

住職 花山 真龍 様



*当日は、加美町や岩出山地区の和尚様方が、駆けつけられ学習活動をサポートしていただきました。

また、行茶(ぎょうちゃ)の時間に、「おーいお茶」と玉澤総本店のまんじゅうを皆でいただきました。

